

<森づくり担い手育成塾（専攻科）>

『専攻科生 製材所と建築業の将来像を探る！』

山（川上）の現状の厳しさは、川中を担う製材業や建築業の生業に直結し、経営を圧迫しています。

要因はコストダウン競争にあります。新設される製材所の規模が飛躍的に拡大、県東部に多かった老舗の製材は、軒並み閉鎖に追い込まれました。また、中山間にもパワービルダーと呼ばれ、低価格を売りにする業者が参入し始めました。これに伴い、地域の家づくりを担って来た工務店や独り親方が新築を請け負う件数が激減しました。梶原町内だけではなく、他の町村も同様です。

ではどうするか？手をこまねいては衰退しかありません。対応策を「中堅」で考えようと、塾では今春、「専攻科生」を募集し、研修を始めています。

応募してくれたのは、梶原町森林組合から中越康太さん（製材）、田尾欣三さん（営業）、安井建築から西村浩二さん（大工職）の3名です。これに論議を深めるため、オブザーバーとして県から木材産業振興課の中城秀樹課長補佐、津野町の株式会社中成の中上康介常務、また大工職の立場で香美市香北町の森本建築から後継者の森本道成さんに参加を求めました。

視察・研修の対象は、県内中山間の製材所ネットワークで、梶原町森林組合も加盟している「ドライウッド土佐会」の各社とその地元にある工務店です。

コロナ禍でスタートが遅れましたが、これまでの経過は以下のとおりです。

【6月】
一般塾生と一緒に開講式

【7月】
梶原町森林組合と安井建築で現状確認

【8月】
(株)中成の第二工場と施工中のCLT建築（須崎市）を見学

【9月】
四万十町の(有)関西木材建設、芝工務店と建築中の保育園を見学

10月は大豊町の嶺北木材協同組合などを予定しています。

（塾長：笹岡）



△熱心に議論する塾生達（7月・梶原町森林組合）



△現場を見学（9月・四万十町内保育園）

＝ 塾生の感想 ＝

○（有）関西木材建設の現地研修について

塾生：田尾欣三（梶原町森林組合）

作業人員及び工場規模が梶原町森林組合と同規模で、製材・乾燥・加工施設があり、製品販売先も邸別物件を主としており、同じ路線で事業展開している関西木材建設を視察しました。

工場のスペースは梶原町森林組合の3分の1程度にもかかわらず、挽き量が年間9千㎡、邸別販売棟数が60～70棟前後と12名の人員でこれだけの挽き量と加工量を行っていることに驚きました。（梶原町森林組合は9名、6千㎡、40～50棟）

乾燥機は3台で、うち1台は新型の減圧式の機械を導入し、人工乾燥材の課題でもある製品の内部割れの僅少化に取り組み、取引先の評価を得ているとのこと。また、木材の含水率・強度表示を自動で計測できるグレーディングマシンを早くから導入し、公共物件など非住宅分野での活用が今後期待されるJAS製品への取組も進めていました。

しかし、工場設備は梶原町森林組合と同様に、施設の老朽化に伴う消耗・修繕費が増加し、また、住宅着工数が減少傾向にある中、今後の事業展開をどうしていくかという課題に直面していました。

県内外で大型製材所が相次いで稼働し、数年前に比べると原木価格はやや高く推移してきました。一方、製品販売単価は逆に下落の傾向にあります。事業を引き継いで6年目の北村憲一社長（49歳）は「製材事業で利益を出して行くのは厳しい現状にある」という意見でした。

そんな中、四万十町内の4つの製材業者が合同で製材工場（原木挽き量3～4万㎡/年間）を新設する計画を進めているとのこと。同町には県内最大規模の森林組合がありますが、原木増産を目指す四万十町・四万十市からの出材の受入先としても期待されます。

北村社長によると、「コロナウイルスの影響もあり、今後1～2年先が不透明な部分があるが、会社の規模縮小より拡大の決断をし、再来年の4月稼働に向け進行中」とのことでした。

梶原町森林組合も同様に転換期に来ており、今後の方向性を見出すべく、様々な観点から学んでいたいと思います。



△塾生に丁寧に説明する
北村憲一社長（左から1番目）

ツリークライミング研修会 受講者募集

ツリークライミングをご存じですか？専用のロープと安全具を利用して木に登り、木や森との一体感を味わう自然体験活動のことです。発祥地はアメリカですが、樹上から森を見たり、木の上でのんびりとした時間を過ごしたりと、五感を使って今までにない自然を体験することができることから、日本でも広がりを見せています。

森が豊かな梶原町を木の上から見下ろし、ぜひ新たな梶原の魅力を発見してください！初めての方でも大歓迎です。皆様の参加をお待ちしております。

開講日時

全3回

○第1回ツリークライミング実地研修（基礎編）

10月25日（日）8：30～17：30

○第2回ツリークライミング実地研修（応用編）

11月22日（日）8：30～17：30

○第3回ツリークライミングを活用した
森林アクティビティづくり

12月13日（日）8：30～17：30

場所

太郎川公園・梶原町役場会議室

講師

HARDWOOD株式会社

代表取締役 森 広志 氏、取締役 片岡 日出美 氏（共に樹木医）

募集要領

- (1) 梶原町在住のツリークライミングや森林づくりに興味のある方 10名程度
- (2) 受講料は無料です。
- (3) 連続講座のため可能な限り全講座を受講してください。
- (4) 応募者が多数の場合は、受講をお断りすることをご了承ください
- (5) 当日は森林内で活動できる服装にて参加ください。ツリークライミングの専用道具は貸し出しします。
- (6) お申込みは、森林の文化創造推進課（65-0811）まで

募集期間

令和2年10月20日（火）

主催

梶原町商工会

共催

梶原町



©HARDWOOD株式会社



©HARDWOOD株式会社